



TAKAO OF BLUE STEEL

ARPEGGIO OF BLUE STEEL

02

18
ADULT
ONLY

TAKAO OF BLUE STEEL

02



TAKAO OF BLUE STEEL. 02



TAKAO OF BLUE STEEL

02



BLUE STEEL

ATAGO OF BLUE STEEL ▶ 02 ?

KOTONOSYA 2013.12 MUTSUMI MASATO



私は群像様の「お願い」で、今後の
高木鋼の活動のために政府の議員相手に
温泉宿で接待することになった

口の身体しどるなあ
タカオちゃん

たっぷり可愛がって
わしの女にしたるかうな

くつ…

「ついでに着くとやつて浴衣をめぐり

品定めするよ」と私の身体を眺める

嫌悪感に吐き気さえ覚えてくる。

身体はこれがうることを
期待するかのように熱く太照りでいた



硬くいきり立ったオヤジちんぽを握らされると、
自然に手が焼きはじめてしまう

「ほつ！

このわしがこんなにも早く
イカされてしまうとは：

じゃが今日のためにひと月
たっぷり溜めこんできたから
何回でも種付けしてやるぞい

焼きはじめてすぐにオヤジは
黄濁した精子を私の手に容赦なくぶちまける

この旅行で、わしの子を
孕ませてやるかうの…ひひ

こんな濃いの膣に射精されたら…
すぐに孕ませられちゃうよ

精子の匂いで、私の頭は痺れはじめ
嫌悪感が薄れ、代わりにメスとしての本能が
色濃く身体と精神を蝕んでいく

浴衣を剥ぎ取り、
全身を撫でまわしながら
オヤジが身体を密着させてくれる

まづまづ

まずは
口まんこから犯したら

いやうしゃ舌を絡めおつて…
すけべな女じや

お尻には
再び硬さと大きさを取り戻した
醜悪なちんぽを擦り付ける

ほれ、
どんどん飲め

まづまづ

まづまづ

まづまづ

まづまづ

唇を奪われ、舌が別の生き物のように
私の口腔を犯し
涎を精子のように流し込む

ふあっ、んんん
んふっ…つゝ



舌を絡め合う痺れるような快感に
半ば酔いながら、オヤジ臭い涎を
甘い飲み物のように自ら飲み干してしまおう

まづまづ

まづまづ

まづまづ

オヤジは、舌を絡め唇を吸い上げながら
私のあっぱいやおまんこを暖覺をつけ
攻め続けの

お尻にやうにちんぽを強く押し付けながら
腰を振る速度がどんどんあがっていく

射精するぞー！

このえろ尻に
たっぷりわしの子種を
ぶっかけたるつ

一瞬の溜めのあと、ちんぽが麻痺し
壙を切ったように大量の青臭い精子が
私の身体に降り注いだ

う
ぶふうつ

あうつ！
あー…ダメえつ



射精の瞬間、敏感になつた乳首を
いきなり強く摘み上げられ
お尻を跳ねあげながら私も一緒にイッてしまつた

アハハ

アハ

アハハハ

アハハ

アハ

ブブブ

ブブブ

リ

アハハ

アハ



腰砕けになつてごろごろを抱えられ
隣の部屋ですでに敷がねていた
布団の上に押し倒される

そのまま足を開かされ
ちんぽを強引に挿入された

節くれ立つた肉棒が
おまんこ内の内壁を擦りあげ
カリ首がヒダを削るように引っ搔く

おほーっ！

こりや具合のええまんこや
肉ヒダがぬるぬる絡みついで
締め付けてきおる

しかし、激しく突き上げるばかりでなく
腰息をつけた腰使いで、私の弱い部分を
確実に攻めてくる

この巧み方に、すぐに身も心も陥落し
鳴き声をあげて
彼を求めてしまつっていた

すぐに腰出し
したるからな

あああああ…
ダメえん
♥

奥まで届いてる
すごい、すごいの
もっとお…
♥

長くたいとやぢちんぽは子宮孔まで届き
口を一ご開けようとするかのように
激しく突き上げてくる



一度墮ちてしまえば、
あとは転がり落ちるよう身を呑んで
男に抱かれる喜びを貪る

そして、程なくわたしの強い締め付けに耐え兼ね
彼が問答無用で一回目の中出しをする

うほほつ
まづは一発・

やはり、若い小姑娘の
まんこへの射精は
格別じやて

出る、射精するぞっ…
ぐううつつ！

ああつ

イイ
ググ
うつ
ツ

すい、すいのお
あじさまチボ、しかーい

すでに體内射精される喜びを
覚えこまさされていの私は
これで完全に彼の女になってしまっていた

そのまま彼と激しく交わり、つい
3度ほど続けて中出しされた後、
露天風呂へと場所を移す

身体をタオル代わりに一奉仕を続けていくと
浴室の扉が突然開いた

あふっ

んあつ…つ
んんん…あうつ

アハハ
アハハ

彼女の乳首にはピアスがされ、
股間には極太のバイブが刺さったまま
くぐもった駆動音をさせながら蠢いている

驚く私に、人間に鹹獲されたアタガが
すでに彼の所有物になっている
ことが明かされた



呆けた表情で、口からだらしなく涎を垂らしながら股間から伝わる快楽に身を委ねるアタゴ・

彼が自分の性奴に近づくと、まだ幼さの残る少ぶりなおっぱいや尻を撫でまわしながらバイヴのリセットの出力を上げる

あにゃあああ…

悲鳴にも似た鳴き声をあげながら顎を仰け反らせ全身を激しく痙攣させ派手におもちゃする

んあつ…つづつ
イウ、イグうつ

いはー
いはー

その視線で、アタゴの姿に激しい興奮を覚え
我知らずおまんこを搔き回していた
自分を認識させられた

腰碎けに倒れかける彼女を抱き留めながら、
彼は一矢一矢と
いやらしい視線を私に向けた

えっ?
わたし・つづく

湯船に浸がりながら、
彼の面脇にアタゴとふたりで抱えられ
おっぱいや尻を弄られ、舌を絡ませ合う

おっぱいを寄せ合ひ、
舌を突き出して竿を舐めまわし報き
玉袋を丁寧に口に含み吸いあげる

んちゅ・れうれう
おちんぽ様おつきいよお
♥

やがて、湯船の縁に寝こもんだ彼に
保されおちんぽで
口でご奉仕をはじめる

ああ…んびつ
べっぴん：

一主人さまの
ちんぽ汁、しゅきい
♥

あああ：
はやく、プリプリのおじさまザーメンを
口いっぱいに味わってみたいよう
♥

フエラは、
男性に支配されている感覚が強く得られて
よりマジ的な被虐心を刺激される

おっぱいを寄せ合ひ、
舌を突き出して竿を舐めまわし報き
玉袋を丁寧に口に含み吸いあげる



深く咥えこんで尿道を吸い上げていた私の頭を
彼が掴んで強引に引きはがす

んんん…ぶあつ
ああ：喉に絡んで
ちゅう、ちゅうるつ
♥

視界を失うほどがかつた精子を
指でぬぐい口へ運び舐めどる

射精るつ、
射精るぞつ！

アタガモ愛おしそうに、
今だ射精の余韻にひくついたおちんぽに
舌を絡めてお掃除エラを焼ける

この瞬間、弾けるようにおちんぽがら
大量の精液が吹き出し
アクメと私の顔に降り注ぐ

ああ：一こんなに脈打つて
残らず吸い出しますね
♥

触られてもいいならのん
大量の精子の臭いと味
連続してアクメを迎えていた



今度は私たちが湯船の縁に
股を開いて、転がされる

やああ…
ひぐつ

そして、まずはアタゴのおまんこに
いきり立った彼のちんぽが挿入された。

うめ、
うめえええ

イク
イツチャウのおお
♥

ああ：
こんなすーーいの

私も欲しいよお
♥

アタゴは私の存在など気にすることなく
大きな鳴き声をあげて
死で彼に絡み付き、求める

私はその光景に激しい興奮を覚えて
欲しくなる身体を抑えられず
自慰にふけってしまった
♥

お前のまんこ
すっかりわしのちんぽに
馴染んどひなあ

うほほつ



彼は当たり前のようにアタマの中に射精した復フエラをナセ、再びたくましさを取り戻した
ちんぽを私に挿入する

待ちわびていた私の身体は
すぐに連続でアクメを迎える
何度も麻痺を繰り返して跳ね上がる

頭は呆けて、ただ彼のちんぽを
あさましくねだって
少しでも奥に届くように、しがみ付く

うほつ：
完全に墮ちたな

この淫売め
お望み通り
膣出しで孕ませたるっ！

欲しいによおお
膣出しして欲しいによ
イクーーっ

あああああ
キタ、キタあああ
イカ

ああ
んん…っ

何度も意識が飛び中、
やがて彼の呻き声と共に
今日、5度目の膣内射精を迎えていた



姉妹のまんこを並べて
犯すことが目的で

タカオを抱かせることを条件に
千早の息子や上陰にも協力してきた

ふひひひひ：
これでお前たち姉妹は
晴れてわしの女だ

これから一週間で、
確実にわしの子を孕ませてやるわい

その後、再び部屋に戻った私たちは
「晩中、彼に抱かれ寝��けて…」

あくる日も、また次の次の日も
食事と疲れて彼が眠つてしまふ時間以外
アタゴと代わる代わる抱き合って寝続けた

いったい何回膣内射精されちゃったのがな…
絶対彼の子供、妊娠しちゃったよね
♥







乱交の後、今度は個室で私は
群像様たち兩人を相手に
奉仕させて頂くことになった

ああ。
ふん、一度抱いてもらえるなんでも
最高のバニラ美だ

まづきまでの疲れなど吹き飛んで、
私はすぐに
ちんぽをおねだりした

今回はお疲れさま
タカオ

おいおい：
張り切りすぎだぜ
タカオ？

ほんとに
ちんぽ好きな女だなあ

オレからもお礼を
させてもううよ

ああ・お、お願ひです

どうが私の身体を使って、
いやらしいことをして下さい
♥

ふふふ：

そんなに欲張らなくとも
ちんぽは逃げませんよ
いっぱい、いっぱい可愛がって下さいね
♥

お前にして欲しいことを
なんでも言つてくれ



あああ…

これからも、ずっとずっと
私の艦長様でいてくださいね



C12



TAKAO OF BLUE STEEL

Postscript

■あつがれさまです。琴乃舎からの8冊目になります。

今回も、夏コミに引き続き「蒼き鋼のアルペジオ」との企画です。
タカオさんLOVE・LOVE・LOVE～(*。*)

アニメが放映されて、タカオファンも増えたものと思いますが
オレの嫁なんぞ——!!(笑)

アニメは、かなり原作と違っていて正直戸惑いましたが
とにかく同好の士が増えたことは嬉しい限りです。

響さんとガ白鯨とが琴乃とが・色々ホントは見たかったけど。

今回のタカオさんの妄想は、前回からの続きの設定です
完全にイオナに内容をコントロールされてあります。
あっさんやクルーの相手ばかりで群像とHさせてもらえません(>_<)

タカオ「うらやましくなんか…ないやい」

最後あたりに可哀想になってきて、なんだか幸せ的な
オチにさせて頂きました。
お疲れ様です、タカオさん。ひどい事してごめんね。

原作では続々魅力的なメンタルモデルたちが登場してあります
まだ全く描き足りないところです。

漫画作品の場合、新キャラの色が不明で即フルカラーイラストで
描けないことが多いと難しいところですね。

アタゴは今回どうしても描きたくて、実は………フフフ…

今後も他作品もやりつつアルペジオも続けて描いていきたいと
思いますので、また見かけたら是非手に取って頂ければ
嬉しいです＼(^o^)／

次は402に習って、コンゴウ本力な?wwwwww

このたびはお買い上げ頂き、誠にありがとうございました!!

(あつみまさと 2013.12.31)

02



誌名/

TAKAO OF BLUE STEEL 02

発行日/

2013.12.31 初版発行

発行元/

琴乃舎

著者/

あつみまさと

連絡先/

<http://mutsumimasato2010.blog71.fc2.com/>

CGスタッフ/

ちーぼう

販売スタッフ/

あうる ちーぼう

印刷製本/

サンライズパブリケーション株式会社

禁/無断転載・複製・複写・アップロード



KOTOONOSYA

BLUE
STEEL



2019.12 MITSUMI MASATO